

## 令和4年産麦作情報（第5号）

### 1. 気象の概要（3月1日～22日までについて）

- ・気温は、平年より高く推移した（平年+2.1℃）
- ・降水量は平年より非常に少なかった（平年66%）
- ・日照時間は平年に比べ長かった（平年125%）

### 2. 麦類の生育状況

<農業試験研究センター・川副>

#### ◎農試作況試験における麦類の生育（3月22日調査）

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/19	本年	52.1	637	9.1	43.9	<b>[気象]</b> 3月1日～3月21日まで ◆平均気温…平年より2.0℃高い ◆日照時間…長い(平年比120%) ◆降水量…少ない(平年比75%)  <b>[生育]</b> ◆草丈 全品種・全作期とも低い。 ◆茎数 11/19播種「シロガネコムギ」はやや少ない。12/10播種「はるか二条」は少ない。その他はやや多い～多い。 ◆葉齢 11/19播種「シロガネコムギ」はやや早い。12/10播種「はるか二条」は平年並み。その他はやや遅い。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		平年	61.6	668	8.9	44.8	
	平年比(差)	85	95	+0.2	-0.9		
	12/9	本年	37.7	772	7.7	49.2	
平年		44.8	681	8.0	43.5		
		平年比(差)	84	113	-0.3	+5.7	
サチホゴールデン	12/1	本年	55.3	1028	10.0	39.2	
		前年	69.3	961	10.3	41.5	
	前年比(差)	80	107	-0.3	-2.3		
	12/10	本年	46.4	1017	8.9	39.1	
平年		51.4	968	9.1	41.6		
		平年比(差)	90	105	-0.2	-2.5	
はるか二条	12/1	本年	55.1	951	9.8	37.5	
		前年	65.5	927	10.1	46.0	
	前年比(差)	84	103	-0.3	-8.5		
	12/10	本年	50.0	745	8.9	37.9	
平均		55.9	890	9.0	44.3		
		平年比(差)	89	84	-0.1	-6.4	

◎ 本年の生育ステージ

品種	播種期 (月/日)	年次	幼穂形成始期 (月/日)	節間伸長開始期 (月/日)	茎立期 (月/日)	出穂期 (月/日)
コムギ シロガネ	11/19	本年	2/2	2/23	3/1	未
		前年	2/3	2/17	2/19	3/26
		平年	2/4	2/16	-	4/1
	12/9	本年	3/1	3/8	3/13	未
		前年	2/22	3/6	3/8	4/1
		平年	2/23	3/4	-	4/9
ゴールデン サチホ	12/1	本年	2/7	3/2	3/10	未
		前年	2/8	2/23	3/2	3/28
	12/10	本年	2/16	3/9	3/13	未
		前年	2/14	3/2	3/4	4/1
		平年	2/11	3/2	-	4/3
	二条 はるか	12/1	本年	2/7	3/1	3/11
前年			2/8	2/20	2/26	3/28
12/10		本年	2/17	3/7	3/12	未
		前年	2/12	2/25	2/27	3/31
		平年	2/11	2/27	-	4/1

注) 平年値の算出方法については前頁を参照。茎立期については累年データがないため、前年値のみを掲載。

<三神管内>

調査日	場所	品種名		播種日	苗立ち数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈 葉数 (L)	備考
3月22日	管内現地 (千代田)	シロガネ コムギ	本年	11月15日	154	48.3	828	8.8	・ 平年より播種期が早い。 ・ 生育は平年より進んでいる。 ・ 止葉抽出中
			H24~29平均	11月29日	146	38.5	540	7.7	
			6か年比% (差)	(-14)	106	126	153	1.1	
3月22日	管内現地 (吉野ヶ 里)	はる風ふ わり	本年	11月18日	100	55.1	627	9.6	・ 幼穂長4 cm程度 ・ 止葉抽出中
			前年	11月19日	136	81.9	512	-	
			前年比% (差)	(-1)	74	67	122	-	
3月22日	管内現地 (鳥栖)	はるか二 条	本年	11月20日	112	53.3	567	9.6	・ 2か年 (R2~R3) と比べて、 草丈は低く、茎数は少ない。 ・ 出穂前
			R2-3平均	11月23日	105	65.5	731	-	
			2か年比% (差)	(-3)	107	81	78	-	

- ・ 11月15~20日播種の小麦では、止葉が抽出している。
- ・ 11月中下旬播種の大麦では、出穂期を迎えている圃場が見られる。
- ・ 気温の上昇に伴い、出穂が早まっており、例年より1週間程度早い出穂となっている。

### 3. 今後の管理

#### (1) 排水対策

- ・次第に降水量が増えてくる時期のため、排水の悪い圃場では、湿害により根の生育抑制及び活力低下に伴い、収量低下となる恐れがある。
- ・現在、降雨が少なく推移していると共に、近年は温暖化の影響で局所的な大雨が降ることが多いため、枕地の排水溝を整備し、滞水しないようにする。

#### (2) 穂揃期追肥（実肥）施用（粒充実・タンパク値の確保）

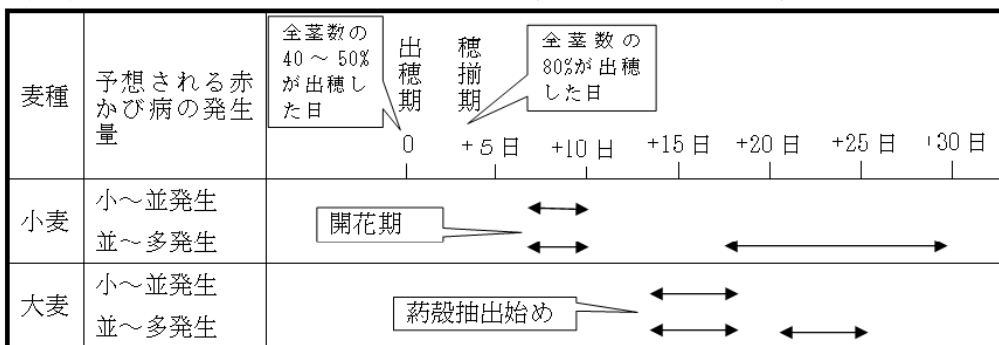
- ・**パン用小麦である「ミナミノカオリ」「はる風ふわり」「さちかおり」については、実需者の求めるタンパク質含有率を確保する必要があるため、必ず穂揃期追肥を施用する。**

※穂揃期に施肥をしなければ、タンパク（%）および容積重（g/L）が低下し、品質評価基準値に満たない恐れがある。

#### 品種別の穂揃期施肥（実肥）の施用量（10aあたり）

品種名	基準量（/10a）	
	硫安の場合	尿素の場合
「さちかおり」	30 kg	15 kg
「はる風ふわり」	25 kg	12 kg
「ミナミノカオリ」	20 kg	10 kg
「チクゴイズミ」	10kg	5kg

#### (3) 赤かび病の防除（はるか二条、しらゆり二条、パン用小麦は2回防除！）



- 注1) 出穂期とは全莖数の40～50%が出穂、穂揃期とは全莖数の80%が出穂した日。  
 注2) 小麦の開花期とは40～50%の穂が開花した日。  
 注3) 大麦の葯殻抽出始めとは、50%以上の穂で葯殻が見え始めた日。  
 注4) 大麦で2回目の防除を行う場合、薬剤の使用量（収穫前口数）に特に注意する。  
 注5) 矢印は防除適期を示す。

#### ◆はるか二条、しらゆり二条

- ・1回目：葯殻抽出期（出穂後10～14日）
  - ・2回目：1回目防除から1週間後
- ※トップジンM水和剤を使用する場合は、収穫前30日前までの使用となっているので注意！

#### ◆サチホゴールド

- ・1回目：葯殻抽出期（出穂後10～14日）
- ※多発生時は2回目防除（1回目防除から1週間後）
- ※トップジンM水和剤を使用する場合は、収穫前30日前までの使用となっているので注意！



●パン用小麦（ミナミノカオリ、はる風ふわり、さちかおり）

- ・1回目：開花最盛期（出穂後7～10日後）
- ・2回目：1回目防除から10～20日後

●シロガネコムギ、チクゴイズミ

- ・1回目：開花最盛期（出穂後7～10日後）
- ※多発生時は2回目防除（1回目防除から10～20日後）



（4）網斑病の防除

- ・12月に初発が見られたものの、平年よりも発生株数は少ない。今後気温の上昇や降雨により及び進展が予測される。
- ・登熟に影響し減収・品質低下の原因となる為、上位葉に進展している圃場は、臨機に薬剤散布を行う。



写真1 下位葉に発生したオオムギ



写真2 上位葉に発生したオオムギ

FRAC コード	薬剤名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本成分を含む農薬の総使用回数
3	チルト乳剤25	1,000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回
3	ワークアップフロアブル	2,000倍	60～150L/10a	収穫7日前まで	3回以内

病虫害防除のてびきに掲載している薬剤を掲載

# R4年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

三神農業改良普及センター

